

ユネスコ無形文化遺産に登録された
「土崎神明社祭の曳山行事」を紹介
（土崎みなと歴史伝承館内）

あきた 市議会だより

No.170
平成30年
5月4日

1月臨時会・2月定例会の概要 …… P2～4
議案等に対する会派別の表決状況 …… P5～7
代表質問 …… P8～10
一般質問 …… P11～12
予算決算委員会各分科会の審査等 …… P12～14
6月定例会のお知らせ（予定） …… P14



土崎みなと歴史伝承館落成式の様子
（3月24日開催）

発行／秋田市議会　編集／あきた市議会だより編集委員会
ホームページ　http://www.city.akita.akita.jp/council/
右のQRコードを読み取ると、過去の議会だよりもご覧になれます。

1月臨時会・2月定例会の概要

1月臨時会　1月26日　／　2月定例会　2月16日～3月19日

1月臨時会では、単行案2件および副市長の選任について同意を求める件をそれぞれ可決・同意しました。
2月定例会では、平成30年度一般会計予算などの予算案17件、秋田市印鑑条例の一部を改正する件などの条例案33件、単行案23件および平成29年度の補正予算案14件をすべて可決・承認しました。また、人事案4件に同意し、議員提案による意見書案1件を可決しました。

1月臨時会

人事

副市長
石井周悦（再任）

あらたに生じた土地を確認する件ほか1件を可決しました。また、秋田市副市長の選任について同意を求める件に同意しました。

平成30年度当初予算の規模

		対前年度増減率
一般会計	1,277億3,000万円	1.4%
特別会計	687億5,445万円	－7.3%
企業会計	337億3,243万6,000円	3.0%
合　計	2,302億1,688万6,000円	－1.1%

特別会計は、国民健康保険事業会計の財政運営の主体が県へ移行することなどにより、対前年度比で7.3%の減となりました。

2月定例会

予算

県・市連携文化施設整備事業
県・市連携文化施設の実施設計等を進めるとともに、運営管理計画を策定します。また、秋田和洋女子高等学校への建物移転補償を行います。
12億4千487万7千円


県・市連携文化施設イメージ図

旧県立美術館活用事業
芸術文化ゾーンの充実による中心市街地の魅力向上を目指し、県から旧県立美術館を譲り受けて活用するための改修工事設計を行うとともに、運営管理計画を策定します。また、改修後の運営に市民が積極的に関わる機運を醸成する企画事業を実施します。
6千453万1千円

津波シミュレーションシステム導入事業
津波は事前に予測することが困難であり、より早く的確な避難行動を理解しておくことが重要となることから、体験学習するためのシミュレーションシステムを導入します。
2千968万6千円

ドローン整備経費
災害時の情報収集等を行うため、ズームレンズ等を搭載した小型無人航空機（ドローン）および映像伝送システムを整備します。
351万5千円

病院法人運営費負担金等
市立秋田総合病院が担う救急医療、精神医療、結核医療などの経費を一般会計が負担します。平成30年度は、34年度の新病院開院に向けた改築費用の一部を負担します。
14億7千988万4千円


市立秋田総合病院

各種証明書コンビニ交付導入事業
マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストアで各種証明書の交付が可能となるコンビニ交付システムを導入し、平成30年10月から稼働開始します。
1億3千11万円

第1子保育料無償化事業
平成30年4月2日以降に第1子が生まれた世帯を対象に、一定の所得制限の下第1子の保育料を無償化し、出生数の増加を目指します。
629万2千円

第2子以降保育料無償化等事業
平成28年4月2日以降に第2子以降が生まれた世帯を対象に、一定の所得制限の下第2子以降の保育料を無償化等とし、出生数の増加を目指します。
・第1子の年齢上限を撤廃
・平成30年4月2日以降に第3子以降が出生した場合、現行の所得制限を緩和し、第2子以降の保育料を半額助成
1億5千186万7千円

奨学金返還助成事業（子ども未来部関係）

保育士・保育教諭を対象に、市内認可保育所等に就職することなどを要件として、奨学金の返還助成を実施することにより、人材を確保し、待機児童の解消を図ります。

募集期間　5年間
助成期間　5年間
助成金額　最大100万円（年助成額上限20万円×5年間）
224万8千円



ロタウイルスワクチン接種費助成事業

乳児のロタウイルスによる胃腸炎の重症化を防ぐため、ロタウイルスワクチンの予防接種を受ける乳児の保護者に対し、接種費用の一部を助成します。

1千26万9千円

障がい者共生社会実現関連経費

「秋田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」の施行に伴い、市民および事業者に対して条例内容の周知・啓発や、障がいのある人の権利擁護に関する相談体制の整備を図るほか、障がいについての相互理解の促進のための関連事業を実施します。

116万3千円

高齢者雪寄せ・雪下ろし支援事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に生活援助員を派遣し、玄関から道路までの雪寄せを行うほか、道路豪雪対策本部が設置された場合に雪下ろし等に要する費用の一部を助成します。

1千320万1千円

介護ロボット導入促進事業費補助金

介護従事者の負担軽減および職場環境の整備を図り、介護従事者の確保に資するため、介護サービス事業所が介護ロボットを導入する際の経費の一部を助成します。

100万円

第141回秋田県種苗交換会開催経費

第141回秋田県種苗交換会秋田市協賛会が行う各種イベント等の開催に要する経費等を負担し、種苗交換会の安全かつ円滑な運営を図ります。

会期　30年10月30日から11月5日まで（7日間）
場所　秋田駅地区周辺、にぎわい広場、旧秋田空港跡地等

6千82万1千円

秋田犬ふれあい事業

国内外で知名度が高い「秋田犬」とふれあいができる場を設け、本市への来訪者の市内滞在時間の増加や中心市街地への新たな人の流れとにぎわいの創出等を図ります。

期間　6月から11月まで
場所　千秋公園に設置

742万円



秋田犬

サル舎等整備事業

観光資源としてより魅力的な動物園を目指し、老朽化の著しいサル舎について、サル本来の生態が観察できる機能的な、また、通年開園にも対応した全天候型の施設整備を行います。

・サル舎改築基本設計、実施設計
・サル飼育展示調査等

3千37万3千円



大森山動物園のサル舎

イングリッシュスクール運営経費

児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上を図るため、外国語指導助手（ALT）を活用した、英語による体験活動等を実施します。

期日　秋季・冬季休業中
場所　各市民サービスセンター等

37万3千円

ICTジュニア育成事業

子どもたちの情報活用能力を育成するため、プログラミングに興味・関心がある小学校高学年および中学生を対象とするICT講座を開催します。

実施時期　夏季休業中
定員　各30名

508万4千円

アンダー40正社員化促進事業

安定した質の高い雇用の拡大を図るため、非正規雇用者を正規雇用転換した企業へ年額20万円を3年間補助するもので、対象年齢を「35歳未満まで」から「40歳未満まで」に拡充します。

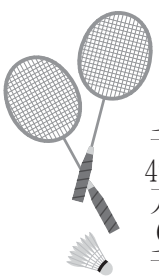
1億2千40万円

バドミントン世界グランプリ（仮称）開催準備経費

平成30年度から4年連続で開催するバドミントンの国際大会に必要な環境整備を行います。

期間　30年7月24日から29日まで
会場　CNAアリーナ★あきた（市立体育館）

1千497万6千円



商工業振興奨励措置事業（商業振興費）

本市産業の活性化と雇用機会の拡大を図るため、がんばる地元企業が行う小売商業施設の新増設等の設備投資に対し、資金面からの助成を行います。

・環境整備助成　2社
・雇用促進助成　2社
・市内企業競争力強化助成　2社

4千768万6千円

商店街空き店舗対策事業

秋田市立地適正化計画における都市機能誘導区域内や秋田市商店街連盟に加盟する商店街において、中小企業者の空き店舗等への新規出店に際し、補助制度により商業集積を促進します。

182万8千円

交通系ICカード導入検討経費

交通系ICカードの導入を推進するため、運用体制やコスト、本市に導入した場合のメリット・デメリット等に関する調査を行い、導入形態について総合的な検討を行います。

631万円

橋りょう修繕事業

橋りょうの長寿命化修繕計画に基づき、修繕等（補修・補強）に係る実施設計および修繕工事を行います。

工事　五丁目橋ほか7橋
設計　三丁目橋ほか17橋

5億3千500万円



五丁目橋

泉・外旭川新駅（仮称）等整備事業

本市の公共交通軸の強化につながる新駅の設置に向け、基本設計や実施設計を行います。

・JR業務　駅施設の基本設計、実施設計
・本市業務　都市施設の実施設計

1億2千106万5千円

太平山スキー場人工降雪機更新経費

安定した良好なゲレンデを提供するため、老朽化により機能不全となった人工降雪機1台を更新します。

1千134万円



太平山スキー場

ミズバショウ群生地調査経費

ミズバショウの群生地が陸地化しており、現在流入している水路の水量を調査するとともに、周辺の水源も併せて調査します。

47万2千円



ミズバショウ群生地

再生可能エネルギー導入支援事業（スマートシティ創エネ事業）

再生可能エネルギー利用機器の購入費用を一部補助することで導入を促進し、温室効果ガス排出の抑制とエネルギーの地産地消による地域経済の活性化を目指します。

・住宅用太陽光発電システム、木質ペレットストーブ等

2千74万8千円



木質ペレットストーブ

条例

秋田市印鑑条例の一部を改正

印鑑登録証明書をコンビニエンスストア等において交付することができることとするため、条例を改正しました。

施行期日　30年10月1日から

秋田市介護保険条例の一部を改正

介護保険法施行令の一部改正等に伴い、平成30年度から32年度までの保険料率等を定めるとともに、規定を整備するため、条例を改正しました。

施行期日　30年4月1日から

単行案

準用河川白熊川河川災害復旧（29災407号）工事請負契約を締結する件

工事場所　河辺戸島字白熊沢地内
契約金額　2億2千572万円
契約先　伊藤工業・岡部建設工業特定建設工事共同企業体
工期　31年9月30日まで

人事

固定資産評価審査委員会委員

山陰逸郎（再任）
鈴木明夫（再任）
佐藤栄子（再任）
西川竜二（再任）

議案に対する会派別の表決状況

1月 臨時会の結果

（　）内の数字は所属議員数。ただし、フロンティア秋田は議長を除く。

	件名	秋水会(16)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(3)	社・市(3)	共産党(2)	議結	決果
市長提出	◆ あらたに生じた土地を確認する件 ◆ 字の区域を変更する件	○	○	○	○	○	○	○	可	決
	◆ 秋田市副市長の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○2 ×1	○	○	同	意

2月 定例会の結果

	件名	秋水会(16)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(3)	社・市(3)※	共産党(2)	議結	決果
市長提出	◇ 平成29年度秋田市一般会計補正予算（第10号）の件	○	○	○	○	○	○	×	可	決
	◇ 平成29年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第２号）の件 ◇ 平成29年度秋田市市有林会計補正予算（第２号）の件 ◇ 平成29年度秋田市市営墓地会計補正予算（第４号）の件 ◇ 平成29年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第２号）の件 ◇ 平成29年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第２号）の件	○	○	○	○	○	○	○		
	◇ 平成29年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第３号）の件	○	○	○	○	○	○	×		
	◇ 平成29年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第２号）の件 ◇ 平成29年度秋田市水道事業会計補正予算（第２号）の件 ◇ 平成29年度秋田市下水道事業会計補正予算（第２号）の件 ◇ 平成29年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第２号）の件	○	○	○	○	○	○	○		
	◇ 平成29年度秋田市一般会計補正予算（第９号）に関する専決処分について承認を求める件	○	○	○	○	○	○	○	承	認
	◇ 平成29年度秋田市一般会計補正予算（第11号）の件 ◇ 平成29年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第３号）の件 ◇ 平成29年度秋田市下水道事業会計補正予算（第３号）の件	○	○	○	○	○	○	○	可	決
	◆ 平成30年度秋田市一般会計予算の件	○	○	○	○	○2 ×1	○2 ×1	×		
	◆ 平成30年度秋田市土地区画整理会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市市有林会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市市営墓地会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市中央卸売市場会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市公設地方卸売市場会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市大森山動物園会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市廃棄物発電会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市病院事業債管理会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市学校給食費会計予算の件	○	○	○	○	○	○	○		
	◆ 平成30年度秋田市国民健康保険事業会計予算の件	○	○	○	○	○	○	×		
	◆ 平成30年度秋田市母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市介護保険事業会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市後期高齢者医療事業会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市水道事業会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市下水道事業会計予算の件 ◆ 平成30年度秋田市農業集落排水事業会計予算の件 ◆ 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件 ◆ 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件および職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○		

※社会・市民連合は先議議案（件名の先頭に◇で表記）の採決時に１名欠席しています。

←6ページに続きます

議案に対する会派別の表決状況

2月定例会の結果

（　）内の数字は所属議員数。ただし、フロンティア秋田は議長を除く。

	件名	秋水会(16)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(3)	社・市(3)	共産党(2)	議結 決果
市長提出	◆秋田市庁舎建設基金条例を廃止する件 ◆秋田市公立大学法人評価委員会条例および地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	可決
	◆秋田市手数料条例の一部を改正する件 ◆秋田市印鑑条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	×	
	◆秋田市国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する件 ◆秋田市国民健康保険条例の一部を改正する件 ◆秋田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する件 ◆秋田市介護保険条例の一部を改正する件 ◆秋田市指定居宅サービス等の事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備および運営ならびに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市指定介護老人福祉施設の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市介護老人保健施設の人員、施設および設備ならびに運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市指定介護予防支援等の事業の人員および運営ならびに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市指定居宅介護支援等の事業の人員および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市特別養護老人ホームの設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市養護老人ホームの設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市軽費老人ホームの設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市介護医療院の人員、施設および設備ならびに運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆秋田市指定障害者支援施設の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市障害福祉サービス事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市公害防止条例の一部を改正する件 ◆秋田市都市公園の設置に関する基準等を定める条例の一部を改正する件 ◆秋田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する件 ◆秋田市建築基準法関係手数料条例および秋田市宅地開発に関する条例の一部を改正する件 ◆秋田市営住宅条例の一部を改正する件 ◆あらたに生じた土地を確認する件	○	○	○	○	○	○	○	

議案、陳情に対する会派別の表決状況

2月定例会の結果

（　）内の数字は所属議員数。ただし、フロンティア秋田は議長を除く。

	件名	秋水会(16)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(3)	社・市(3)	共産党(2)	議結果
市長提出	◆ 字の区域を変更する件 ◆ 字の区域を設置する件 ◆ 町および字の区域ならびにその名称を変更する件 ◆ 公立大学法人秋田公立美術大学定款の一部を変更する件 ◆ 地方独立行政法人市立秋田総合病院定款の一部を変更する件 ◆ 包括外部監査契約を締結する件 ◆ 秋田市勝平地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市大住地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市八橋地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市泉地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市明徳地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市港北地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市太平地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市下北手地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市下新城地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市下浜地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市浜田地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市飯島南地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件 ◆ 秋田市南部市民サービスセンターの指定管理者が管理する施設の範囲を変更する件 ◆ 市道路線を認定する件 ◆ 準用河川白熊川河川災害復旧（29災407号）工事請負契約を締結する件 ◆ 秋田市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する件 ◆ 秋田市旅館業法施行条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	◆ 秋田市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件（４件）	○	○	○	○	○	○	○	同　意
議員提出	◆ 所有者不明の土地の利用促進に係る制度の創設に関する意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	可　決
陳情	◆ ゲリラ豪雨と地球温暖化のわかりやすいガイドブック作成について	×	×	×	×	○1 ×2	×	○	不採択
	◆ ピタント（真空パック機）の普及がごみ減量、ごみ袋格安を保証するごみ袋格安条例の制定について	×	×	×	×	○1 ×2	×	×	
	◆ 最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充に関する意見書の提出について	×	○2 ×4	×	×	○2 ×1	○	○	

★会派内で賛否が分かれた場合、賛成（○）と反対（×）の人数を数字で掲載しています。
★略記している会派の名称
「そうせ」はそうせい、「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「フロ秋」はフロンティア秋田、「社・市」は社会・市民連合、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

秋田市議会ＨＰ ➡ 議会の日程と議案の結果 ➡ １月市議会臨時会 ２月市議会定例会 ➡ 議員の表決状況

右のＱＲコードを読み取ると、各議員の表決状況がご覧になれます。（ＰＤＦファイル）

１月臨時会（平成30年1月26日議決）　２月定例会（平成30年3月6日議決）　（平成30年3月19日議決）

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。

○所有者不明の土地の利用促進に係る制度の創設に関する意見書

❑ 請願・陳情の提出について ❑

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の３日前（市の休日は算入しません）の午後５時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課　電話０１８（８８８）５７８４

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

代表質問

秋水会 鎌田修悦

◇市長の市政運営◇本市のまちづくり◇教育と福祉◇環境問題◇財政等◇人事◇本市の諸課題

秋田市立地適性化計画

問 **同計画の目標年次をおおむね2040年とし、基本指標等を設定した上で5年ごとに計画の進捗状況や妥当性を検証するとしていますが、予定どおり達成できると考えていますか。**

答 同計画では、計画の推進によって期待される効果を目標値として設定していますが、おおむね5年ごとの評価・検証により、目標値の確認とともに市街地の変化や施策の効果をチェックしながら、必要に応じて計画を見直すこととしており、そうした継続的な取り組みによって目標を達成していきたいと考えています。



県・市連携文化施設

問 **県・市連携文化施設整備事業に係る総事業費は、県民会館および文化会館を個別に建設する場合と比較して安価であるべきと考えますが、どのように検討していますか。**

答 同事業に係る総事業費は、現時点では約231億円と見込んでおり、このうち本市では約95億円を負担しますが、国の交付金等により、実質負担額は約40億円と積算しています。一方、市文化会館を単独で建て替える場合は約136億円の整備費が見込まれ、活用できる有利な財源もないことから、全額が市の実質負担額と考えています。同様に、県民会館の場合も、県・市連携文化施設として整備することにより経費の節減が図られるものです。こうした比較検討の結果、個別に建て替えするよりも県・市連携文化施設として整備することが将来的な本市の負担軽減になるほか、施設機能向上にもつながると判断しています。

そうせい 武内伸文

◇市民の幸福◇新スタジアムの整備・検討◇千秋公園への民間活力の導入等◇まちのグランドデザインと実現へのアプローチ◇公共交通◇健康寿命の延伸◇認知症の受容と在宅介護◇IoT等の推進◇環境都市の推進◇インバウンドを含む交流人口の拡大◇ユニバーサルツーリズム

千秋公園の管理企画運営

問 **まちづくりや観光など多目的な機能が求められる千秋公園の管理企画運営において、Park-PFIの導入を含めた民間活力導入の可能性をどのように考えますか。**

答 民間活力の導入については、平成29年度改定の千秋公園再整備基本計画において、公民連携による公園のマネジメントの推進を基本方針の一つとしています。今後、先進事例を参考としながら、事業アイデアを公募するなど、Park-PFIを含めた民間活力の導入可能な手法について検討していきます。

交流人口の拡大

問 **旧金子家住宅において常設カフェを営業してはどうですか。また、民俗芸能伝承館を含む管理運営については、指定管理者制度を導入してはどうですか。**

答 旧金子家住宅は、年間約3万5千人の観覧者が訪れるほか、落ち着いた雰囲気を持つ土蔵は、絵画等の展示や舞踊の公演などにも利用されています。カフェおよび指定管理者制度の導入については、今後の検討課題としていきます。



千秋公園ポケットパーク



旧金子家住宅

■行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ**「マチイロ」**であきた市議会だよりを配信しています。

専用アプリをダウンロードしてご利用ください。

※マチイロ公式サイト http://machiiro.town/

アプリダウンロード
QRコード

代表質問

市政全般にわたり、会派を代表して６人の議員が質問しました。

フロンティア秋田 倉田芳浩

◇核兵器禁止条約に対する認識等◇地上配備型ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の配備◇県・市連携文化施設整備事業に係る秋田和洋女子高等学校への建物移転補償◇市有財産等◇問題を抱える母子世帯に対する支援◇がん教育◇市立中学校・高校の部活動◇秋田市民の幸福度◇社会福祉法人への指導監査等◇浄化槽処理水の地下浸透設備に対する指導等◇公文書の管理等◇内部公益通報制度◇受動喫煙の防止◇電線類地中化（無電柱化）の推進

部活動の暴力行為等

問　運動部活動における暴力行為、暴言およびハラスメント行為の報告を受けたことはありますか。また、あったとすれば、その詳細な調査は行いましたか。さらに、問題解決に向けてどのような取り組みを行いましたか。

答　運動部活動における指導者の不適切な指導や言動などについて、学校からの報告、保護者等からの訴えを受けた際には、当事者や周囲からの聴き取りなどにより、速やかに事実を明らかにし、詳細な状況を把握した上で、当該指導者に対して厳しく指導するとともに、必要に応じて指導主事やスクールカウンセラーを学校に派遣し、生徒の心のケアを優先しながら問題解決に努めています。

受動喫煙の防止

問　本庁舎敷地内を全面禁煙とするべきではありませんか。

答　本市では、平成26年に定めた、市の管理する公共施設の受動喫煙防止対策に関する指針に基づき対策を講じてきたところです。今後は、国や他の自治体の動向を見ながら、来庁者や本庁舎内職員の喫煙実態を調査するなどした上で、判断していきたいと考えています。



本庁舎の喫煙所

市民クラブ 見上万里子

◇人口減少対策◇新スタジアムの整備◇農業施策◇人事◇教育◇保育料の軽減◇生活保護◇高齢者の運転免許証の自主返納◇ごみ処理◇下水道◇消防◇職員の不祥事

女性管理職の増加策

問　過去３年間における小中学校の女性管理職の割合の推移と、その状況をどうとらえていますか。また、今後女性管理職を増やす方策をどう考えていますか。

答　本市の小中学校における女性管理職の割合は、平成27年度が約13パーセント、28年度、29年度が約10パーセントとなっており、ここ数年はやや減少傾向となっています。女性管理職が増加しない要因としては、管理職の登用が本人の意思による選考試験の受験を前提としており、管理職としての責任の重さや長時間の勤務、試験の準備などに負担を感じ、管理職を目指すことをためらう場合が多いものととらえています。このような状況を改善するため、各校において、管理職が教員と一体となって理想の学校づくりを推進する中で、学校経営の魅力を実感させ、自らも管理職として学校経営に取り組んでみたいという意欲を高めるとともに、教員全体の働き方改革を進めることにより、性別によらず不安なく管理職を目指せるような環境整備に努めていきます。

新スタジアム整備

問　新スタジアムは、県の施設として整備を進めるべきではありませんか。

答　新スタジアムの整備主体については、スタジアム整備のあり方検討委員会の報告書で、行政主導を想定しつつ、民間資金を組み合わせた多様な資金調達の手法を検討すべきとされたところであり、具体的には、平成30年度に設置される（仮称）新スタジアム整備構想策定協議会で検討する予定となっています。



■ＬＩＮＥによる情報発信を行っています

本会議や委員会の開催日程などについて、ＬＩＮＥによる情報発信を行っています。
ＬＩＮＥアプリをスマートフォンなどにインストールし、秋田市議会を友達登録することで、お知らせを受信できますので、ぜひご利用ください。

LINEの「友だち追加」QRコード

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

代表質問

公明党秋田市議会 武田正子（たけだまさこ）

◇市長の政治姿勢◇障がい者に優しい共生社会の実現◇子どもを生み育てやすい社会づくり◇交流人口増加による経済活動の活性化◇市民の幸せの基盤となる健康・長寿の実現◇教員の働き方改革

秋田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例

問 **同条例の理念を市民に浸透させるためにどのような取り組みを考えていますか。**

答 本市では、広報あきた等を用いて条例の内容や合理的配慮の提供などの具体例の周知に努めるとともに、障がいのある方とない方との交流の機会の確保など、さまざまな取り組みを継続的に実施します。

教員の働き方改革

問 **教員の労働環境改善のため、今後どのような取り組みを行いますか。**

答 教育委員会では、これまで教員の労働環境改善のため、学校給食費の公会計化、調査・報告の縮減等に取り組んでいるほか、ストレスチェックを実施し、教員が自ら心の健康状態を把握することでワークライフバランスを考え、意欲を持って職務に励めるよう努めています。今後は、部活動指導員など、教員をサポートする外部人材の活用を図るとともに、学校閉庁日の実施を検討するなど、さらなる労働環境の改善に努めていきます。

待機児童の解消等

問 **本市の待機児童の現状はどうですか。また、やむを得ず兄弟で異なる保育所に通っている現状をどのように認識していますか。**

答 本市では、教育・保育施設の希望者は年々増加しており、年度途中には待機児童が発生している状況です。また、そのほとんどは3歳未満児であり、やむを得ず兄弟で異なる保育所に入所しているケースもあることから、引き続き施設の整備や保育士の確保に努め、希望どおりに入所できる受入体制を目指していきます。

社会・市民連合 工藤新一（くどうしんいち）

◇昨年の豪雨災害に対する対応◇職員の不祥事◇財政と施策の選択◇農林業の振興◇家庭ごみ処理手数料と手数料相当額の使途◇フッ化物洗口事業◇スタジアム構想

災害対策

問 **災害対策本部情報システムに、タブレット端末やスマートフォンからの映像をつなぎ、状況把握に役立てる考えはありませんか。また、市民サービスセンターやコミュニティセンターに同端末を最低1台配置し、非常時の映像伝送ができるようにするべきではありませんか。**

答 災害時には、現場の状況把握は重要なことと認識しており、専用のスマートフォンで撮影した映像を災害対策本部室に送信できるシステムを導入したところです。今後、市民サービスセンターなどに専用スマートフォンを段階的に配置していくことを検討しています。

財政と施策の選択

問 **市の予算は、いわゆる箱物に傾斜し過ぎているとの批判がありますが、どのように認識していますか。**

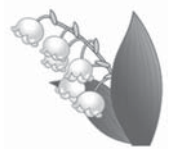
答 本市の予算編成においては、喫緊の最重要課題である人口減少対策や、「新・県都『あきた』成長プラン」に掲げた、地域産業の振興と雇用の創出など5つの成長戦略に予算を重点配分したところです。また、市有建築物を含む既存の公共インフラについては、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の統廃合を含めた総量管理を行いながら、適正配置に取り組んでいるところです。そうした中で、新たな施設整備については、市民ニーズを踏まえ、地域の活性化や市民生活における必要性・優先度を見極めながら、限られた財源の中で、将来の発展に寄与するために効果的な整備を実施していると認識しています。



議会の動き

2月13日　各派会長会議
　　議会運営委員会
16日　2月定例会
　　（3月19日まで）

3月19日　編集委員会
4月3日　編集委員会
12日　編集委員会



一般質問

市政全般にわたり、３人の議員が質問しました。

秋水会 小野寺（おのでら） 誠（まこと）

◇市長の市政運営◇秋田港クルーズ列車運行への対応◇待機児童対策◇災害に強いまちづくり◇豊かな自然環境を守り、生かす施策◇除排雪対策◇マイタウン・バス

行政と地域との連携

問　災害時における行政と地域との連携はどうあるべきと考えていますか。

答　本市では、秋田市災害対策基本条例の中で、自らの命を自ら守る自助を基本とし、地域でお互いに助け合う共助が大切であるととらえており、公助である行政とのより良い連携・協力が必要不可欠であると定めています。このことから、防災講話等による自主防災組織の育成と支援や、地域と消防、行政が一体となって行う総合防災訓練等の実施や地域主体の防災訓練等へ職員を派遣するなど、地域の防災力向上への取り組み等を行っています。今後も、これらの活動を通じ、地域とのさらなる連携の強化に努めていきます。

市政運営

問　市長就任10年目を迎えるに当たり、これまでの市政運営をどのように総括していますか。

答　市長に就任してから、これまで間、将来世代への負担を先送りすることなく、さまざまな課題に対し、真摯に取り組んできました。産業雇用では、２千人を超える新たな雇用を生み出すとともに、約540人の非正規雇用者の正規雇用への転換を実現し、雇用の質の向上につながる取り組みも進めてきました。子育て支援では、年度当初の待機児童ゼロを７年連続で達成したほか、第２子保育料無償化等により、子どもを生み育てやすい環境づくりを、高齢者福祉では、エイジフレンドリーシティの実現に向けた取り組みを推進してきました。また、新庁舎やエリアなかいちのオープン、家庭系ごみの有料化によるごみの減量推進、秋田公立美術大学と大学院の開学等、次世代に引き継ぐことができる礎を築き上げてきたものと考えています。

そうせい 小原（おばら） 譲（ゆずる）

◇次代を担う本市の人材戦略◇不祥事の再発防止

道路除排雪

問　弘前市の取り組みを参考に、雪対策業務の包括的民間委託を検討すべきではありませんか。

答　同市では、安定した地域維持の遂行と、次世代の担い手育成の促進を図ることを目的に、除排雪業務と道路維持業務を一つの包括的業務として、平成24年度より全23地区のうち、２地区において実施しており、今後、効果の検証を行うとしています。本市においては、道路施設の修繕業務などを請け負う場合、除排雪業務を行っていることを要件にするなどの取り組みを行っていますが、除排雪業者の中には、自動車販売業や運送業など道路維持業務ができない建設業以外の業者も数多く、包括した業務委託は難しいととらえており、今後も、同市など先進地の動向を注視していきます。

地域交通政策

問　本市の地域交通政策の現状認識および新年度の対応はどうですか。

答　本市ではこれまで、郊外部における民間のバス路線の廃止に伴い、代替交通としてマイタウン・バスを運行し、市民の移動手段の確保に努めてきたところです。しかし、近年、高齢化の進行や、運転免許証の返納者の増加に伴い、移動手段の確保が必要となる地域が生じてきていると認識しています。このため、マイタウン・バスの運行を継続するとともに、引き続き、地域が主体となる生活交通の導入など、新たな移動手段の確保に向けた仕組みづくりを検討するため、他都市の先進事例について調査・研究を進めていきます。



除排雪の様子

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル101ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

６月定例会の本会議は、６月７日、18日、19日、20日、29日に開催予定です。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

秋水会 齊藤善悦

◇市長の政治姿勢◇まちづくり◇市民の安全・安心◇産業振興

臨空港地域

問 **臨空港地域のまちづくりの考え方および空港が立地されている特性を生かした施策の拡充について、どのように考えていますか。**

答 臨空港地域は、豊かな自然環境を有し、スポーツ機関、教育・研究機関、七曲臨空港工業団地など、多様な機能が集積した地域であります。本市では、秋田空港等の利便性などを積極的にPRしながら企業誘致に取り組んでいるほか、空港を玄関口として、首都圏在住者等を対象とした農業体験等を実施するなど、空港から近い立地性を活かした取り組みを進めています。さらに、国内線が就航している東京、大阪、名古屋での観光プロモーションや、台湾へのトップセールスを実施しているほか、平成30年度は、タイや中国での観光プロモーションを予定しており、国内外からの交流人口の拡大にも取り組んでいます。豊かな地域資源を有しながら、首都圏にアクセスしやすいという同地域の魅力が広く認知されることは豊かな自然と充実した都市機能とを併せ持つ本市のアピールポイントにもなり、移住定住につながるものととらえています。

市長の政治姿勢

問 **県・市連携に臨む市長の基本姿勢をどのように考えていますか。**

答 人口減少が進む中、将来にわたって持続可能な社会を形成するためには、コストの縮減や行政サービスの維持・向上等の効果が見込まれる公共施設の統廃合など、県と市がお互いの目的に応じ、さまざまな連携を図ることが有効な手法であるものととらえています。今後も、県との連携に当たっては、市民・県民が対等な立場で議論を重ねながら本市が主張すべき点は主張し、県全体を牽引する県都としての役割をしっかりと果たしていきます。

予算決算委員会各分科会の審査から（平成29年度補正予算について）

総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員 **非常備消防人件費の減額理由は何ですか。また、本市の消防団員数の推移と全国的水準から見た消防団員数をどのように考えていますか。**

消防本部 同人件費について、当初予算で消防団員数を1千946人と見込んでいましたが、平成30年2月1日現在で1千917人と、見込みを29人下回ったことから減額補正しました。本市の消防団員数は、高齢による退団者などが増えつつあることから、緩やかな減少傾向となっており、消防団員数の全国的水準の指標の一つである、地方交付税標準団体規模に基づき算定した団員数よりは上回っているものの、地域実情や大災害発生時の対応などを考慮して定数を2千100人と設定しています。今後とも、定数を満たすよう機能別団員制度の拡充など、加入促進策を推進しながら、消防団員の確保に努めていきたいと考えています。

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 **西部市民サービスセンター地域保全費について、減額補正の理由は何ですか。また、同経費の減額に伴い、公園等の点検・修繕などに影響は生じていませんか。**

市民生活部 同経費については、新屋勝平三角沼公園の管理が、本市から国直営になったことにより、同公園の管理にかかる予算を減額したことが主な理由であり、他の公園等の修繕などへの影響はありません。



新屋勝平三角沼公園

教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員　**アンダー35正社員化促進事業は、人口減少問題への対策として重要な施策であるにもかかわらず減額補正していることは、事業の周知が十分でなかったことなどが原因と思われますが、今後の周知方法をどのように考えているのですか。**

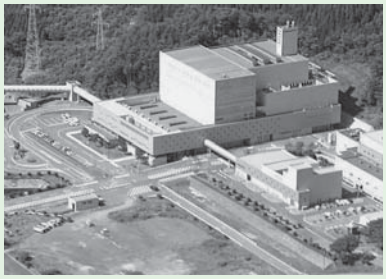
産業振興部　同事業については、当初予算における対象人数を300人と見込んでいましたが、平成29年度の交付見込みは252人となっていることから、減額補正をするものです。これまでは、特に人手不足が深刻な医療・福祉関係や建設・運輸関係をメーンに周知してきましたが、平成28年度および29年度の実績を勘案し、今後は、同事業の利用実績の少ない銀行等の金融関係もターゲットとしながら、さらなるＰＲ活動を展開していきたいと考えています。

建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員　**廃棄物発電会計における一般会計繰出金については、発電量の増加に伴い発電収入が増えたことにより増額していますが、発電量が増加した要因は何ですか。**

環境部　廃棄物発電量については、ごみの貯留量や処理量の調整により、発電効率がよくなる溶融炉の２炉同時運転の実施日を増やすことができたことや、発電の際に無駄となる蒸気の発生を抑制するなど、効率的な運転に努めたことにより増加したものです。



秋田市総合環境センター

平成29年度補正予算の修正案を否決

３月５日に開催された予算決算委員会で、一般会計補正予算のうち、八橋陸上競技場夜間照明等整備事業および同事業に係る繰越明許費を削除する修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。以下、教育産業分科会における同事業に関する質疑応答を掲載します。



教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員　**八橋陸上競技場夜間照明等整備事業について、ブラウブリッツ秋田のＪ２ライセンス取得や、多くの中・高校生などが陸上競技の夜間練習のため、照明設備を必要としていることなどから、同事業には異論はありませんが、照明設備に、約５億９千万円もの設備が本当に必要なのですか。また、大型映像装置は、第１種公認の陸上競技場でもないことから、設定している600インチ規模の装置は必要ないと思いますが、十分な検討を行ったのですか。**

観光文化スポーツ部　照明設備については、Ｊ２ライセンス取得の規定に、ピッチ上のどこを計測しても１千500ルクス以上の明るさが必要とあり、それをクリアするための設備を設定したものです。また、大型映像装置については、特に規格についての規定はありませんが、一番遠い反対側のスタンドから、画面に表示された文字が読めなければならないため、600インチ以上の規模が必要と判断したものです。これらの設備は、必要最低限のものとして概算設計により積算したものですが、同事業の実施に当たっては、公募型プロポーザルにより業者を選定する予定であり、より優れた提案を期待しているものです。



八橋陸上競技場



予算決算委員会各分科会の審査から（平成30年度当初予算について）

総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員　救急業務メディカルコントロール体制運営経費のうち、救急救命士の生涯教育について、その必要性、内容および経費はどうですか。

消防本部　救急救命士の生涯教育は、資格取得後、病院実習や各種教育プログラムを通じて、病院前救護に必要な医学的知識や技能の習得・維持に努めるなど、救急救命士としての資質の向上を図るため、本市でも取り組んでいます。その教育時間は、2年間で128時間、そのうち48時間は病院実習を行うこととされているため、講義のほか、救急救命士を市内の5病院に派遣し、病院実習を受けさせており、実習費として各病院への負担金16万2千円を計上しています。



救急救命士による病院実習の様子

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員　家族・地域の絆づくり推進事業について、平成29年度と比較して予算額が大幅に減額となった理由は何ですか。また、昨年末に実施した絆のコンサートは観客動員に苦労したようですが、今後どのように対応していきますか。

市民生活部　同事業は、これまで有名アーティストを招いて開催していたコンサート内容を、秋田にゆかりのある歌手や小学校の音楽部などによる市民参加型に改めることに加え、会場を文化会館からアルヴェのきらめき広場に変更することで、委託料や借り上げ料が減額となるものです。また、同コンサート開催に当たっては、これまで入場料を徴収していましたが、毎年アルヴェで開催しているクリスマスフェスタの一環として無料で開催することとし、より多くの市民に気軽に参加していただけるように開催方法を見直しました。

教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員　動物園にぎわい創出事業について、平成28年度、園内にWi-Fi環境を整備しましたが、今後、集客力を上げるため、この設備等をどのように活用していくのですか。

観光文化スポーツ部　今シーズンの開園に向けて、平成30年1月には大森山動物園地図アプリ「てくてく大森山動物園ナビ」を制作したところです。このアプリは、動物園の探索マップや動物図鑑などが閲覧でき、園内で十分に楽しめる内容になっているほか、動物園からのお知らせやアンケートもできることから、今後ともイベント等の周知や利用者の意見や要望を聞きながら、さらなる誘客や環境整備に努めていきます。



大森山動物園地図アプリ

建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員　八橋下水道終末処理場と秋田臨海処理センターの機能統合を控え、今後の同センターへの汚水流入に係る負担金の増減をどのように見通していますか。また、機能統合に係るスケジュールはどうですか。

上下水道局　同負担金は、県が運営する同センターへの維持管理経費を流入水量に応じて負担するもので、機能統合による流入水量の増加により負担額が増えることに加え、負担金単価の見直しや流域関連市町村の人口減少の進行により、本市の負担割合が増えることも想定されます。スケジュールについては、平成30年度から2カ年をかけて接続管渠の築造を行い、平成32年4月の機能統合を予定しています。



八橋下水道終末処理場

6月定例会のお知らせ（予定）

◆日程

6月7日	本会議
18日～20日	本会議「一般質問」
21日～25日	常任委員会・分科会（土日除く）
27日	常任委員会
29日	本会議

◆一般質問予定者

渡辺正宏、伊藤一榮、
佐藤宏悦、田中勉（秋水会）
宇佐見康人（そうせい）
石塚秀博（公明党秋田市議会）
伊藤巧一（フロンティア秋田）
藤枝隆博（社会・市民連合）
佐藤純子（日本共産党秋田市議会議員団）

次回のあきた市議会だよりは平成30年8月3日発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。
日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

〒010－8560 秋田市山王一丁目1番1号 秋田市議会事務局
電話018（888）5784 ファクス018（888）5783
この冊子は全戸配布しています